

リケジョ活躍促進に向けた 「かなテラス」（神奈川県立かながわ 男女共同参画センター）のチャレンジ

2018年4月20日

山本長史（かなテラス所長）

@研究・イノベーション学会

「女性エンジニア活生分科会」（JWSE）幹事役員会



<今日お話ししたいこと>

1. 「かなテラス」のミッションと社会的背景の理解
2. リケジョ活躍促進に向けた2つのアプローチ
 - (1) 現役世代向け…「かながわ女性の活躍応援団」
(トップの意識啓発・具体的支援策の普及)
 - (2) 将来世代向け…「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」
(女子中高等学校への現役リケジョ出前講座)
3. 今後の課題

1 - (1) かなテラスのミッション

■ かながわ男女共同参画センター

男女共同参画社会の実現を推進する地域の拠点施設

(※「かながわ」から「男女共同参画社会」を明るく「てらす」
＝かなテラス)

■ 男女共同参画社会とは

〈男女共同参画社会基本法〉

- 性別にかかわらず、その個性と能力を生涯にわたって十分に発揮できる社会
- 男女の人権が尊重され、社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある社会

1 - (1) かなテラスのミッション

■男女共同参画社会とは

⇒平たく言えば、

■排除されることのないまっとうなフェアな社会、持続可能な活力あるイノベティブな社会

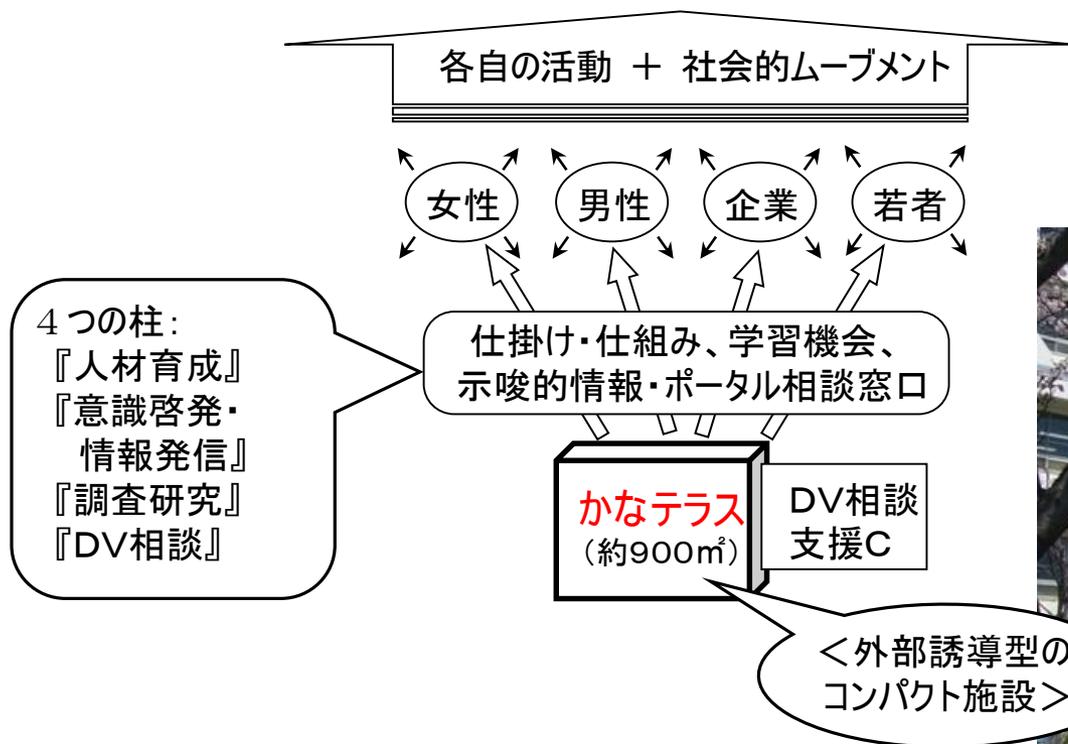
※野田女性活躍担当大臣曰く（H30.3）

「女性を優遇してくれと言っているのではないんです。まっとうに働けて、まっとうに評価される社会を作ってほしい。私たち女性のためにではなく、次の世代のために。」

1 - (1) かなテラスのミッション

外部連携、外部誘導を主軸とした施策展開

女性の自立・男女共同参画社会
(性別に関わりなく生涯にわたって個性と能力が発揮できる社会)

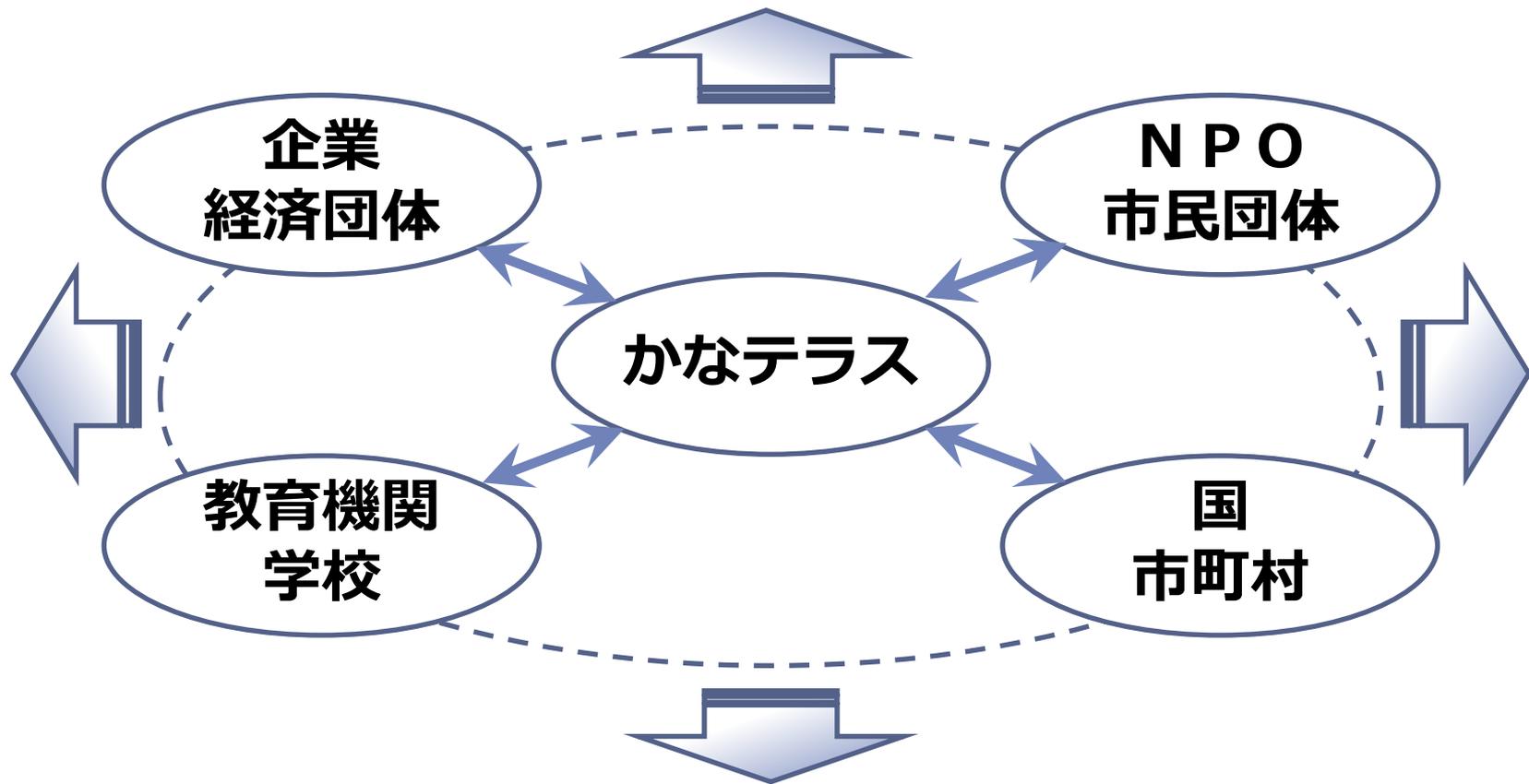


藤沢駅より徒歩約10分
(県合同庁舎内)

1 - (1) かなテラスのミッション

■ 外部連携、外部誘導を主軸とした施策展開

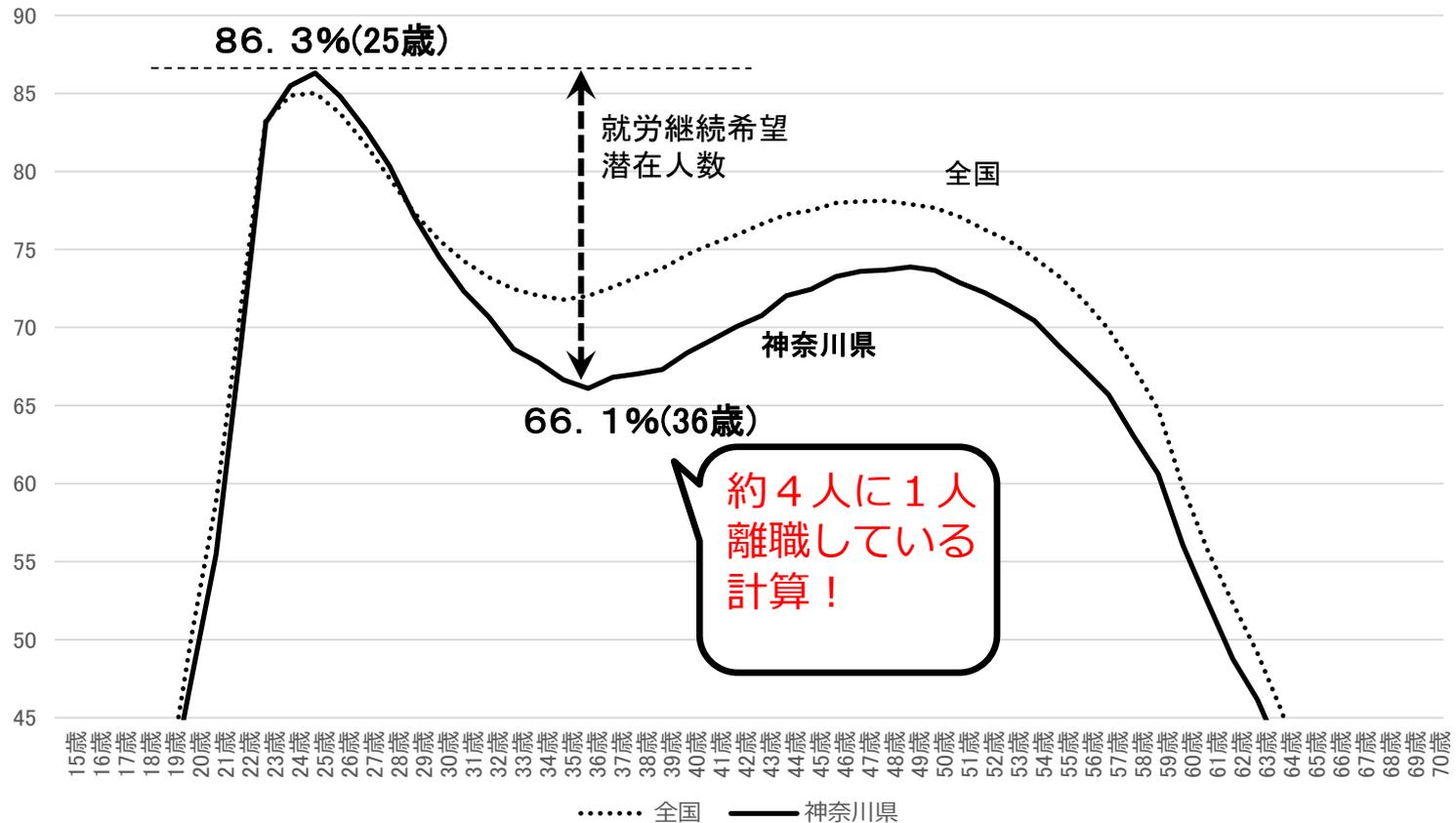
⇒ 意識改革、具体的取組みの「社会的ムーブメント」へ



1 - (2) 社会的背景の理解

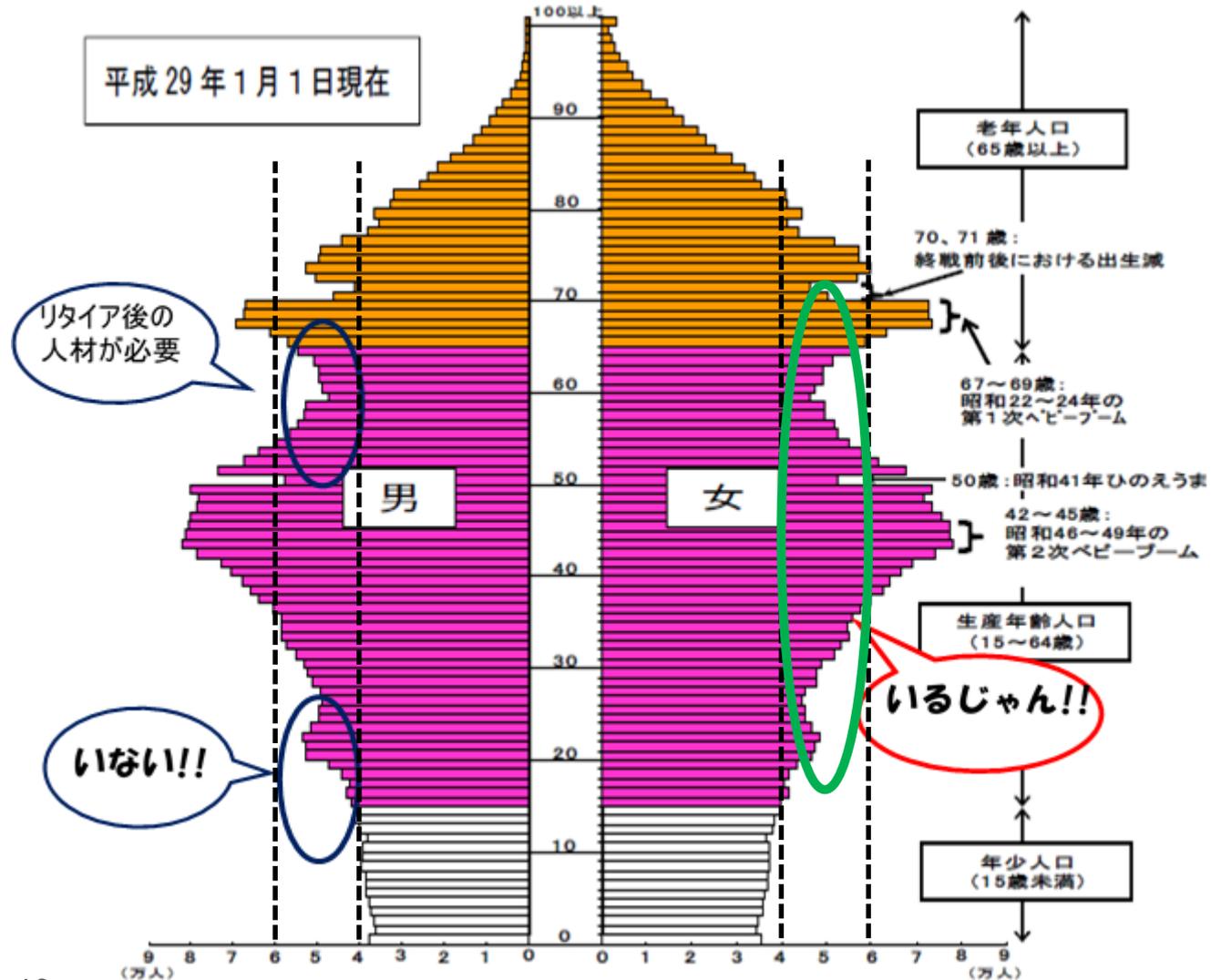
■ 男女共同参画社会実現に関わる課題と追い風

年齢別労働力率（女性。2015年国勢調査）



1 - (2) 社会的背景の理解

<神奈川県の人人口ピラミッド>



1 - (2) 社会的背景の理解

○神奈川県の実研究者・技術者数

■研究者数 1万6,000人 (東京都 1万7,000人)

■技術者数 32万5,800人 (東京都 37万9,700人)

★ともに東京に次いで全国2位。 人口比ではトップ

⇒神奈川県がリケジョ活躍推進をやら
ないでどこがやる？！

2. 「リケジョ活躍促進」への2つのアプローチ

(1) 現役世代に向けたアプローチ

○職場における働き方改革・キャリアアップ促進

⇒「**かながわ女性の活躍応援団**」による男性トップの意識改革と具体的取組み拡大(社会的ムーブメント拡大)

(2) 将来世代に向けたアプローチ

○女子中学生高校生の理系志望(理工系進学・就労、研究職技術職系進学・就労)の促進・支援

⇒「**かながわりケジョ・エンカレッジプログラム**」による女子中学生高校生向け出前講座の実施拡大

リケジョ向けに特に力を入れているのはこちら

2-（1）かながわ女性の活躍応援団

- 「かながわ女性の活躍応援団」とは
 - 『男性トップから男性トップへの意識改革の働きかけ』を目的
 - 女性活躍推進に積極的で、神奈川にゆかりのある社会的インパクトのある企業等の男性トップ20名と知事（団長）による「かながわ女性の活躍応援団」を結成（H27.11）
- なぜ「男性トップから男性トップ」か
 - 女性の活躍実現には男性の意識改革、特にトップの意識改革が極めて重要かつ有効（スピード感が違う）
 - 県内企業のトップの約9割が男性という現状から、男性トップの意識改革には男性トップから男性トップへの働きかけが効果的。⇒あえて応援団員は男性のみ

2 - (1) かながわ女性の活躍応援団

■ 「かながわ女性の活躍応援団」の取組み

○性別に関わりなく個性と能力を発揮し続けられること
(女性の活躍)

=個人にとってだけでなく、企業経営的にも重要
との発想のもと、

○意識改革の社会的ムーブメント拡大のための取り組みを
展開中

=シンポジウム、啓発講座（他団体等と共催）、啓発冊子、HP等

2- (1) かながわ女性の活躍応援団

★意識改革の社会的ムーブメント創出拡大のための取組みを展開中



■ 啓発講座等の開催（応援団員企業等から講師派遣）

- ◆ 平成 27 年度 5 回 参加者 611 人
- ◆ 平成 28 年度 8 回 参加者 530 人
- ◆ 平成 29 年度 14 回 参加者 1,510 人
- ◆ 平成 30 年度 17 回 参加者 1,600 人(目標)

◎ 年々拡大。29 年度からは特に経済団体とのコラボを拡大（直接、企業経営者等への働きかけを行うため）

◎ 「かながわりケジヨ・エンカレッジプログラム」とも連動

※ 平成 29 年 10 月 25 日に NPO 法人「日本女性技術者科学者ネットワーク」(JNWES) と協力協定締結。研究者・技術者数が全国トップの神奈川県において平成 29 年度から開始した中学校・高校への「リケジヨ促進出前講座」に応援団員企業等からも講師派遣

2-（1）かながわ女性の活躍応援団

★リケジヨ活躍促進の取組み事例

①事例 1

○啓発講座での現役リケジヨ活躍事例紹介

□かながわ女性活躍推進セミナー（第一生命）

・トークセッション

スピーカー：キリンビバレッジ（株）

商品開発研究所担当部長

日揮（株）

品質管理部

プロジェクトQCマネージャー

□平成29年度女性活躍シンポジウム（平塚市）

・基調講演「JFEスチールのダイバーシティ推進」

鉄鋼「ウーマン」の活躍推進

JFEスチールのダイバーシティ推進活動

24時間操業の製鉄所における取り組み

女性の就労、
就労継続、円
滑な復職サ
ポート、モチ
ベーションの
保持支援な
ど、具体的支
援策を紹介

2-（1）かながわ女性の活躍応援団

★リケジョ活躍促進の取組み事例

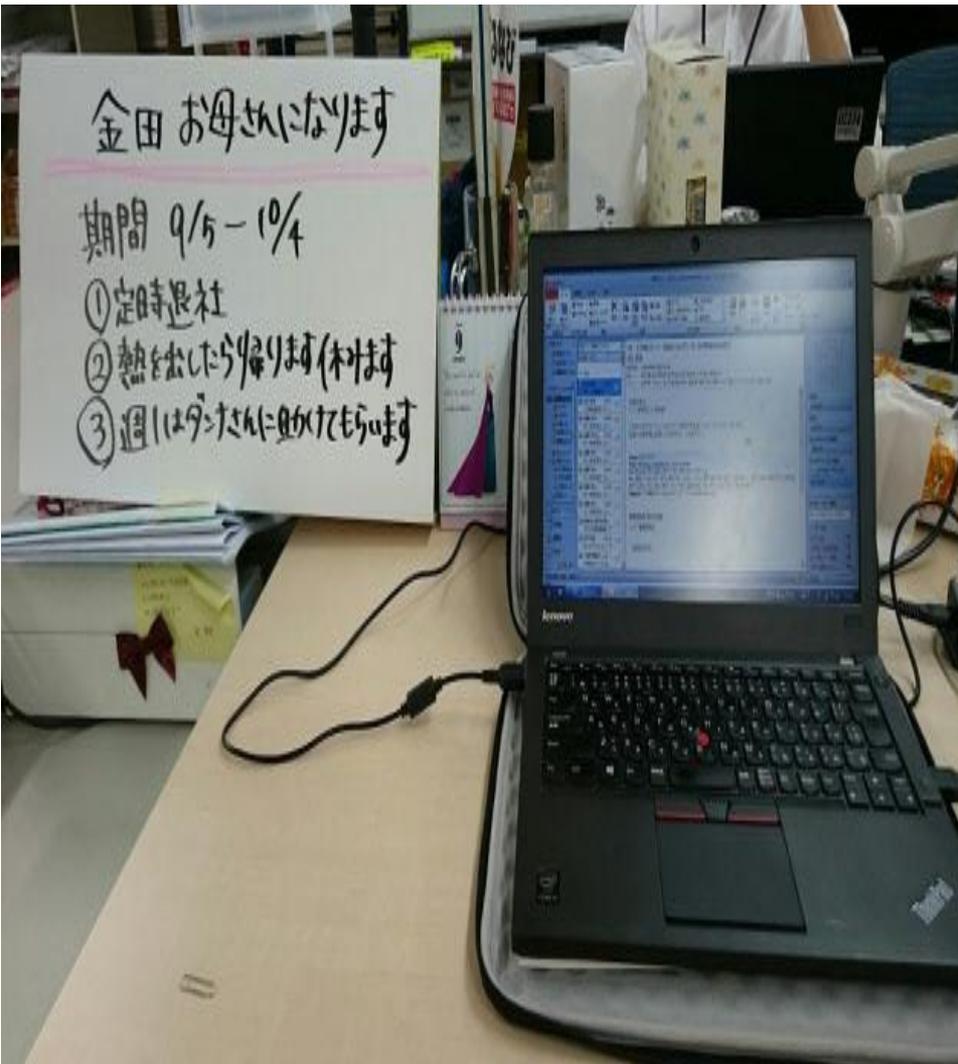
②事例 2（営業職向けの取組ではありますが…）

○「なりキンママ・パパ研修」（取組紹介冊子・啓発講座で紹介）（キンビール（株）の研修）

□研修期間中（1か月）に、例えば、いきなり保育所（ダミー）から電話「発熱したのでお子さんを引き取りに」
→仕事を中断、段取りをつけて退社。

⇒多様な働き方・立場への理解。ライフイベント両立の予行演習。突発事態に備えた時間・進捗管理能力の向上。サポートしてもらおう周囲の巻き込み力。お互い様の環境。

「1か月ママになってみる」、という5名の営業女子の実験



実験概要 ~ママルールの策定~

社内の営業ママにインタビューを行い、9つのリアルなルールを策定

1	定時出社 (9時)	保育園お送り
2	定時退社 (17時30分)	保育園お迎え
3	夫サポート制度	週に1回、イクメン旦那の力を借りて残業・飲み会参加
4	突発的な休み (終日)	パティチームの JJ からランダムにくる「子供発熱」の連絡
5	突発的な休み (出社後)	すぐ迎えに行かないといけない発熱連絡
6	シッター制度	帰れない時はベビーシッター利用を想定した罰金制
7	20~5時P C可能	緊急対応が必要な時に備えた心の保険 ※実験のため特別許可
8	ママ活動宣言	家に早く帰って何をやるかを宣言
9	ママ日記	ママとしてやったことを毎日メモ&共有

【実験期間】

①9月5日~1か月間 (井尻、金田) ②9月12日~1か月間 (河野、樋口、加藤)

【前提条件】

- ①子どもの年齢は2歳前後 ②旦那とは同居 ③実家サポートは原則なし
- ④フルタイム勤務 ⑤各人周囲のママたちのリアルを聞いたり調べる

【巻き込み人数】

632名 (うちコアの巻き込みは123名)



「なりキリンママ・パパ」研修を取り組む意味 <短中期>

「なりキリンママ・パパ」研修は参加者本人の働き方改革だけでなく、体験を通じて多様な働き方・立場への理解することで多様な人が活躍できる環境を目指します。

■期待できる成果

会社組織の将来構造に向けた
トレーニング

突発事態に備えた時間・進捗
管理能力の向上

サポートをしてもらう周囲との
コミュニケーション強化・巻き込み力

ライフイベントと両立できるように
するための予行演習

硬い役割・担当範囲の相互柔軟化
(ある人が突然いなくなっても仕事は回す)

チャレンジする時間創造×生活者視点強化
チャレンジからの学びを次のチャレンジに
活かすサイクルが回っている状態

育児・介護による制約など、
多様な人材を活かせる風土

社員の**リーダーシップ、マネジメント力向上**

「他に迷惑をかけないお互い様」から
「理解し支え合うお互い様」へ

2-（1）かながわ女性の活躍応援団

● 応援団事業で伝えようとしていること

- 多様な働き方改革＝生涯にわたって能力を十分に発揮してもらうということ。
 - 例えば育児期。これまでは「育児免除型」。今は、時短も使いながら両立して働き続けてもらう、仮に育休になっても、できる限りスムーズに復帰してもらい、キャリアアップもしてもらう、「育児・キャリアアップ支援型」へシフトしている。（岩田喜美枝アドバイザー）
- ⇒その先行事例の紹介・普及を。

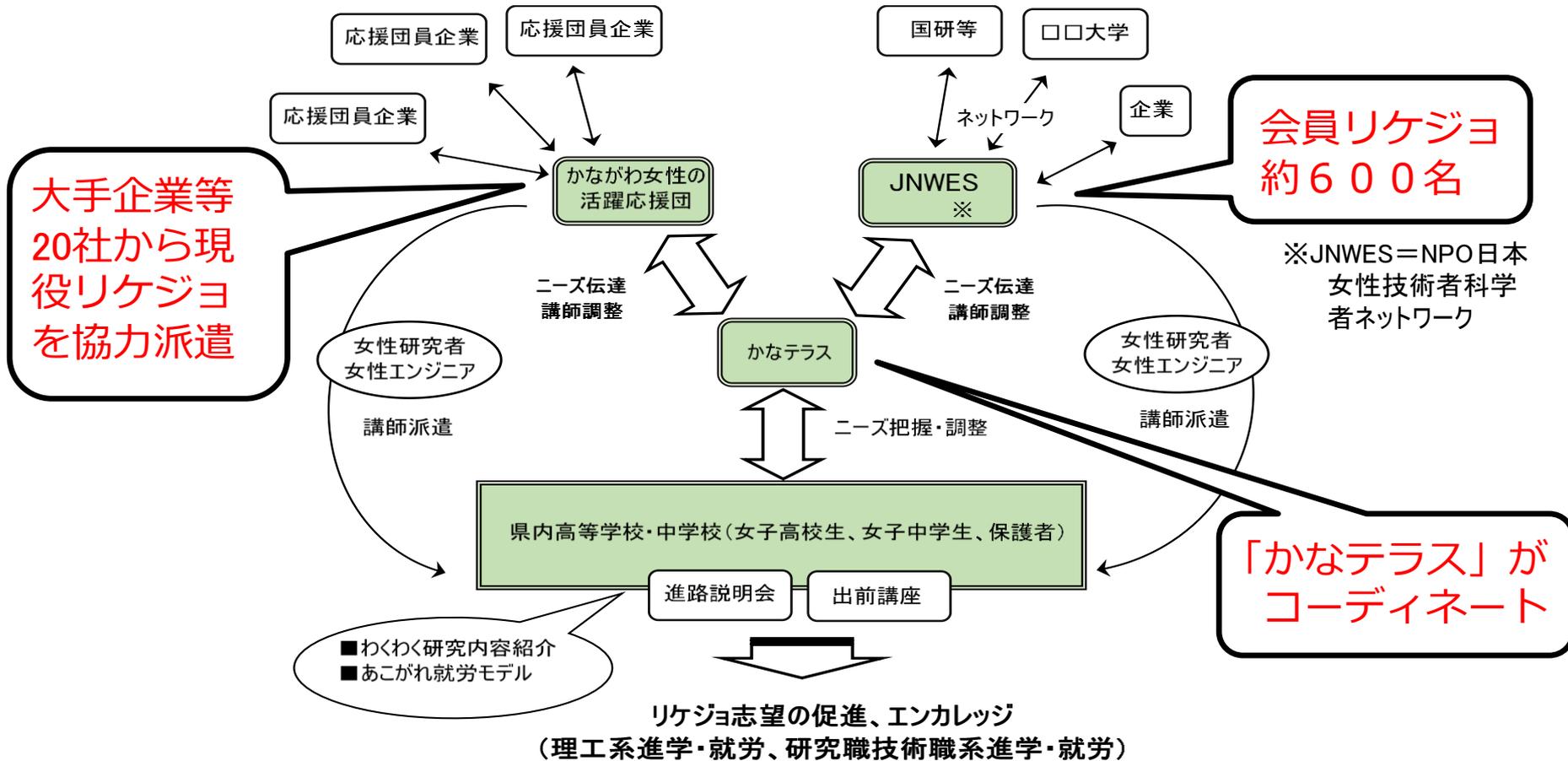
■ 県内中学校、高等学校向け出前講座

○「かながわ女性の活躍応援団」団員企業等
○NPO法人
日本女性技術者科学者ネットワーク

↓ …「かなテラス」がコーディネート
« 「働くリケジヨ」を講師として派遣 »

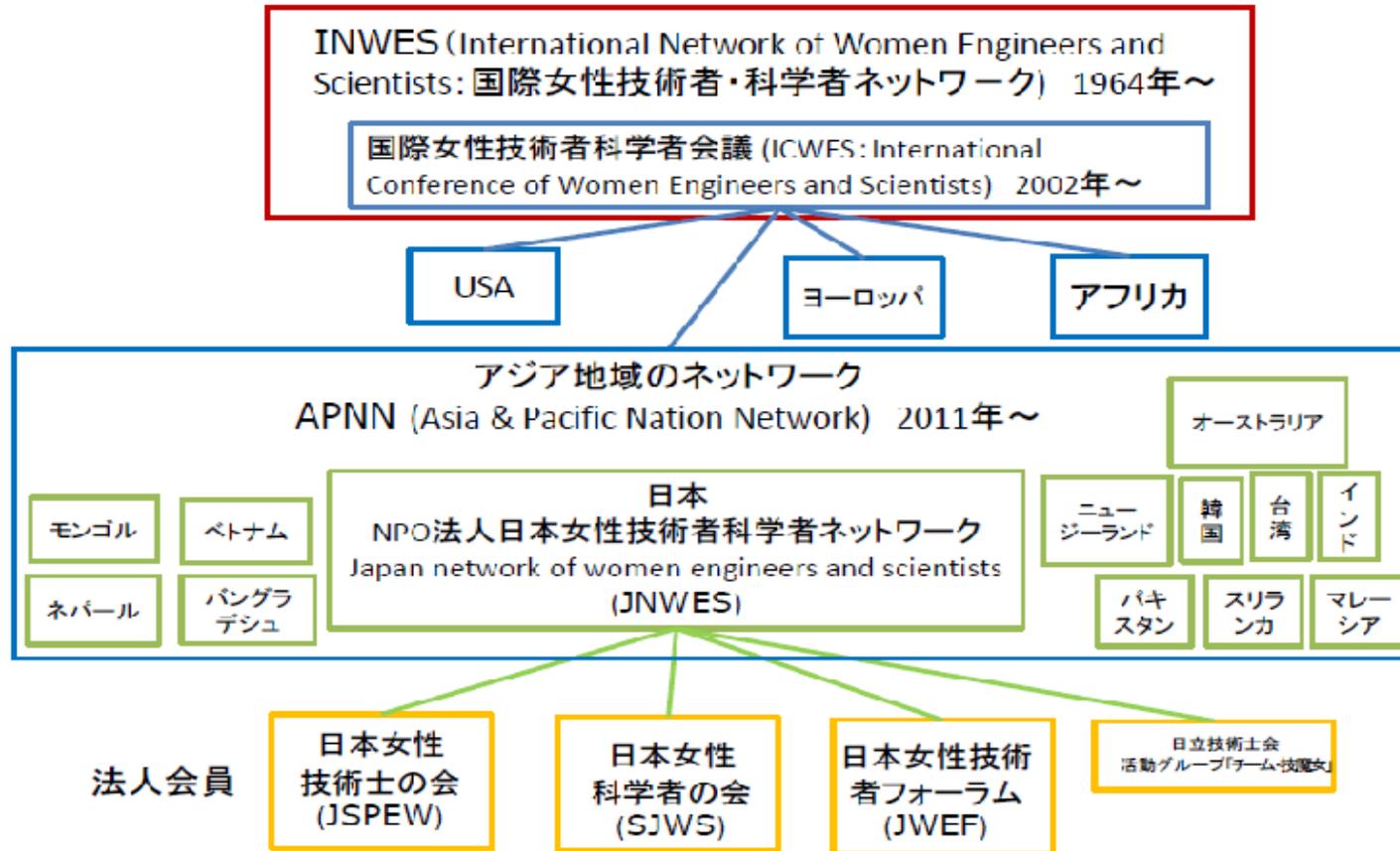
2-(2) かながわりケジョ・エンカレッジプログラム

■ スキーム



2-(2) かながわりケジョ・エンカレッジプログラム

■ NPO日本女性技術者科学者ネットワークとは



2 - (3) 実施例① 県立市ヶ尾高校



- H29.10.17実施
- 県立高校
(ほぼ全員が大学等に進学)
- 放課後自由参加の「キャリアアップ講演会」(連続開催)の一部として実施

- 講師 = 育児中現役リケジョ(資生堂研究所、神奈川県土木事務所)
- 保護者の参加もあり。
- 比較的少人数参加であったが好評価。開催後の口コミ反響も大。
⇒ 進路カウンセリング窓口に問い合わせ相次ぐ。

2 - (3) 実施例② 聖園女学院

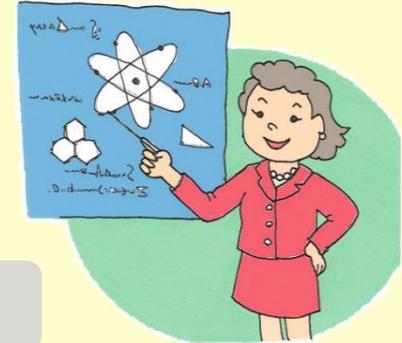
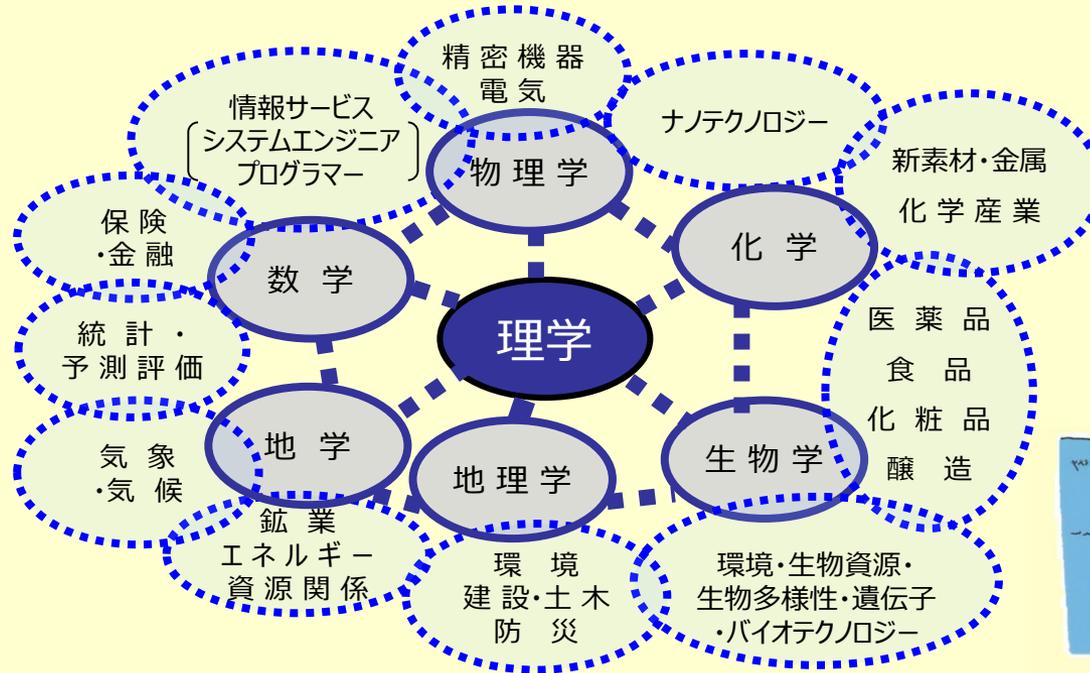


- H29.12.25実施
- 藤沢市内私立中高
- 自由参加の冬休み期間中の「特別講義」(講演+グループワーク)として実施

- 講師 = NPO日本女性技術者科学者ネットワーク現役リケジョ(女性技術士の会理事長(栄設計。技術士)、山下設計情報技術室長、防衛医科大学校准教授)
- 中1から高3まで参加。
- 200分の長時間プログラムであったが好評価。継続開催希望。

大学の学部選択と卒業後の進路

■ 理学系……理学は物事の理を探求し、様々な分野の基礎を作る

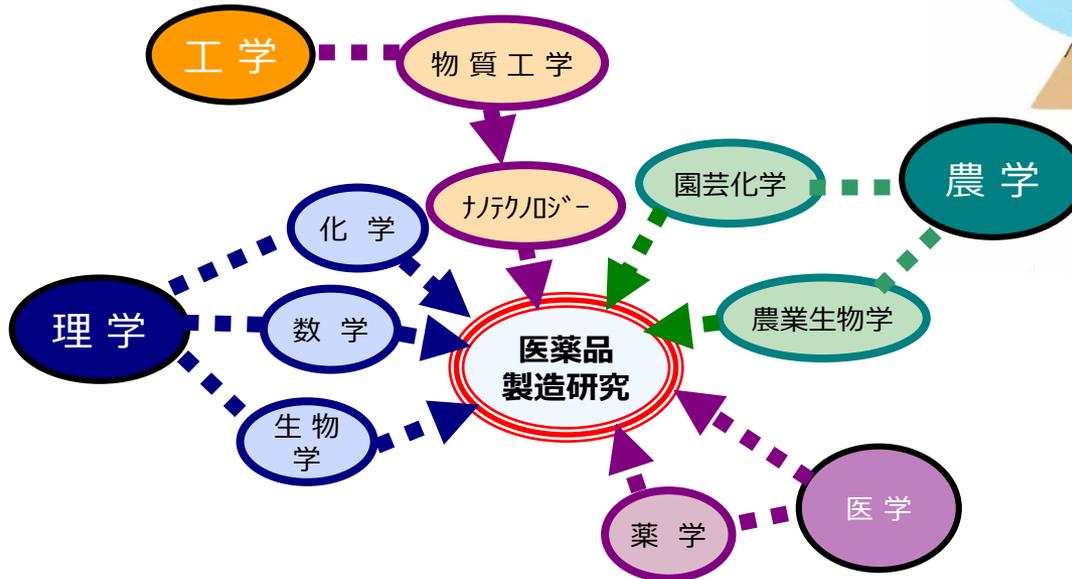


★ 理学系は研究・教育方面へ進むことが多い

※ 理学系の全分野の記載ではなく一例です

夢をあきらめないで・・・
一つの職業でもアプローチはさまざま！

- もし、「薬品関係の仕事がしたい」と思ったら・・・



※アプローチの過程の一例です

2 - (3) 実施例③ 県立追浜高校



- H30.1.17実施
- 県立高校
(ほぼ全員が大学等に進学)
- 「1・2年生全員対象の進路講演会」として実施

- 講師＝現役リケジョ(京浜急行電鉄鉄道統括事業戦略課、アサヒビール研究所)
- 講義20分×2名＋質問回答コーナー。
- 好評価。継続開催希望(進路選択前の年度前半開催希望)

《生徒たちの感想》

- 実際に働いている人から直接、話を聞く機会が貴重！
- 好きなことを見つけて、いきいきと仕事をしている。カッコイイ！
- 「理系」のイメージが変わった！
- 自分の進路について考えるきっかけになった！勉強頑張ろう！

2-(4) 中学生の意識とリケジョポテンシャル

平成29年度内閣府委託調査
「女子生徒等の理工系進路選択支援に向けた生徒等の意識に関する調査研究」

■ 中学生の意識

・女子中学生の理系イメージ(男子に比べてポイントの高かった項目)

「受験のとき試験が難しそう」71.9% 「学習するのは難しい」58.2%

「かっこいい」38.4%

仕事イメージに広がりがない

・中学生の理系の「仕事」イメージ

1位「学者」 2位「医師・医者」 3位「研究者・研究員・研究職」

「サラリーマン」「公務員」はあまりイメージされない。

リケジョポテンシャル開花の可能性あり！

・「自分は理系タイプである」とする女子生徒の割合

女性の理数科目教員の授業を受けている女子生徒…**33.8%**(293人中)

そうでない女子生徒 …**22.5%**(484人中)

3. 今後の課題

■ 効果的な水平展開方策の構築と実施

(1) 現役世代のリケジョ活躍促進

○現状では、「**応援団事業**」のムーブメント拡大が、**かなテラス**としての水平展開方策。

■**職場環境改善の意思決定とスピードの鍵を握る「経営トップ」への働きかけ機会の拡大が課題。**

⇒**トップ勉強会の機会を持つ経済団体(商工会議所等)とのコラボ展開を営業中。**

※しかし、**応援団事業は、リケジョ活躍促進に特化しているわけではないので、現状では、アドホックな対応&半ば偶発的な応用可能性に依存している側面もあり。**

3. 今後の課題

■ 効果的な水平展開方策の構築と実施

(1) 将来世代のリケジョ活躍促進

○ <かながわりケジョ・エンカレッジプログラム>の実施校拡大を強力に調整・模索中。

■ 実施校、出前講座受講生徒・保護者の拡大

H29 3校 572人 ⇒ H30 5校 1,180人 ⇒ …

■ 「先行事例・パターンの蓄積」と「コーディネート力のキープ」が最大の課題。講師派遣元はあっても、単に繋げばいいというものではなく…。

■ 「対象拡大」にも課題。現状は大学進学進路選択が中心だが、中学校、小学校への展開、技能系は？…などなど。

**「かなテラス」は、
「リケジョ・エンカレッジ」を
強力に進めていきます！！**

ご清聴ありがとうございました。